

ヘルシンキ市 : Helsinki Design System (HDS)

都市概要

国名/都市名	フィンランド/ヘルシンキ市	社会情勢・ インフラ・ 文化	<ul style="list-style-type: none">2012年にWorld Design Capital (World Design Organization)によって経済、社会、文化、環境の発展を促進するためにデザインを効果的に活用している都市を隔年で表彰) に選定。イノベーションファンドSITRAがHelsinki Design Labを設立しデザインを通じた共創サービスを提供してきた。
人口	約67万人 (2023年12月時点)		
行政区分上の位置づけ	フィンランドは、広域自治体のない単層式の地方自治制度を採用。基礎自治体クンタ (kunta) は、住民の福祉と地域開発を包括的に担い、個別の法律で定められている義務的事務のほかは自由に活動できる	その他 都市の特徴	ヘルシンキ市と調査会社の合同リサーチによると、ヘルシンキの世界メディアでの認知度は2015年から2020年で大幅に高まったが、ストックホルムやコペンハーゲンなどと比べるとまだ遅れをとっている。
各種デジタルランキング上の位置づけ	IMDによる「Smart City Index 2024」で第9位		

- 行政区分上の位置づけ、J-stage「フィンランドにおける中央-地方関係の新たな展開」、https://www.jstage.jst.go.jp/article/hikakuseiji/12/0/12_133/_pdf/-char/ja, 2025-01-31
- 社会情勢・インフラ・文化・その他都市の特徴、ヘルシンキ市、<https://www.hel.fi/en/decision-making/information-on-helsinki/design-and-digitalisation/helsinki-brand-and-visual-identity/brand-and-marketing-strategy/learn-more-about-the-brand>, 2024-12-20



ヘルシンキ市 : Helsinki Design System (HDS)

事例概要

所掌組織

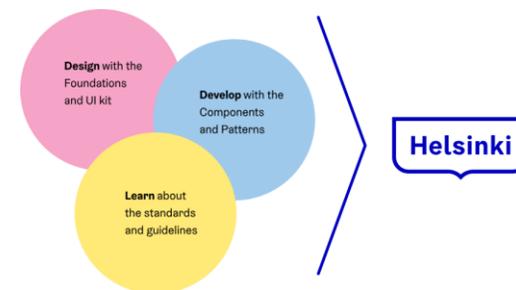
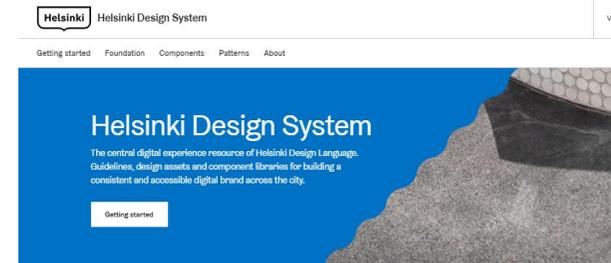
ヘルシンキラボ：都市開発にてデザインの利用を促進するヘルシンキ市内部デザインチーム

- ヘルシンキ市のデザイン作業は、ヘルシンキ研究所の専門家のサポートを受けながら、市のデザインディレクター ハンナ・ハリス氏が主導。
- さまざまな業界にわたる200を超える開発者、デザイン会社、その他のパートナーのネットワークと連携して135以上のデザインプロジェクトが実行されている。

取組概要

Helsinki Design System (HDS)

- ヘルシンキ市が構築したオープンソースデザインシステム。ヘルシンキ市が提供する行政サービス・プロダクト開発と設計のためのツールとガイドラインから構成され、UI・UXを規定することで市のブランドの一貫性を保ち、全てのユーザー体験を向上させることを目指している。
- サービスプロバイダーが全ての基本機能を毎回再考する手間を省き、顧客のニーズに集中できるようにする設計及び開発ツール。
- 「ワールドワイドウェブコンソーシアム (W3C)」がだれもが使いやすいWeb構築を可能にするために、アクセシビリティ、国際化、プライバシー、セキュリティの原則を規定した標準・ガイドラインである「Web コンテンツ アクセシビリティ ガイドライン (WCAG)」に準拠し、作成されている。



沿革

2016年：ヘルシンキ市内部組織の「ヘルシンキラボ」が設立
 2017年：「ヘルシンキ市デザイン戦略」が開始
 2020年：HDS α版、β版がリリース

2021年：HDS 1.0.0が公式にリリース
 2022年：HDSを用いて、ヘルシンキ市公式ホームページが更改
 2024年：HDS 4.0.0が公式にリリース

参考 出典

- 取組概要、ヘルシンキデザインシステム、<https://hds.hel.fi/>、2024-12-20
- 所掌組織・沿革、デザインヘルシンキ、<https://design.hel.fi/en/blog/10-years-as-a-design-city/>、2024-01-28

ヘルシンキ市 : Helsinki Design System (HDS)

調査内容

背景	<p>設立のきっかけ</p> <p>フィンランドは、世界で最も機能的な都市になるという目標のもと、他国に先駆けあらゆる行政サービスをオンラインで提供するなど先進的な取組を進めていた。</p> <p>一方で、多様な行政サービスを提供するあまり、サービスごとのデザインを統一できておらず、市民は利用にあたって混乱し、市のデジタル成熟度は低下していった。</p> <p>設立の経緯</p> <p>ヘルシンキ市のブランド戦略により、市のブランドコンセプトや行政デジタルサービスを2021年から2022年にかけてリデザインすることに決定。これに合わせ、HDSも整備された。</p>
ミッション	<ul style="list-style-type: none">デジタルサービス全体の一貫性を維持することを目的に、再利用可能なコンポーネント、ガイドライン、スタンダードを整備したヘルシンキ市独自のデザインシステムを開発する。デザインシステムを通じて、開発時間を短縮し、開発者がデザインの詳細ではなく機能に集中できるようにする。デザイナーと開発者のコラボレーションが向上し、一貫性のあるユーザーエクスペリエンスが確保され、更新と拡張性を簡素化する。
予算	デスクトップリサーチでは、詳細不明
人員体制	<p>プロダクトオーナー1名、開発者2名、デザイナー2名の5人チームで開発・保守を担当。</p> <p>※HDSライブラリを使用するプロジェクトに携わる市職員や直接市に関係がない人であっても、SlackやGitHub上で開発チームとやり取りを行い、デザインの提案、バグ修正、新機能の提案を通じてHDSの改善に貢献することも頻繁にある。</p>
参考 出典	<ul style="list-style-type: none">背景、デザインヘルシンキ、https://design.hel.fi/en/blog/10-years-as-a-design-city/、2025-01-28ミッション、デザインヘルシンキ、https://design.hel.fi/muotoilutarinat/helsinki-design-system-kohti-yhtenaista-digitaalista-palvelukokemusta/、2024-12-20人員体制、ヘルシンキデザインシステム、https://hds.hel.fi/、2024-12-20

ヘルシンキ市 : Helsinki Design System (HDS)

調査内容

特徴的な
機能

【ガイドラインユーザー（調達担当職員）向けサービス内容】

- コンポーネントやパターンを使用してUIデザインを作成する場合に、事例をもとに使用時の設計原則やDo's and dont'sを記載。利用者にとって使いやすいサービスであるかを調達者が確認するために有用なツールとなっている。

コンポーネントの使用原則：例)「日付入力」の場合

- 日付入力は、ユーザーが特定の日付を入力することが予想される場合にのみ使用してください。ユーザーがどの日付を選択すればよいか判断するのが難しい場合や、選択した日付があいまいな場合は、ユーザーが週、月、日付範囲などを選択できるようにします。
- 日付入力ラベルには細心の注意を払ってください。ユーザーが入力することが予想される日付を明確に説明する必要があります。適切なラベルは、「到着日」のように入力内容を説明します。

パターンの設計原則：例)「フォーム構築」の場合

Do's :

- 絶対に必要な情報のみを尋ねる
- 論理的で予測可能な順序に従う
- 既知の情報は事前に入力する

Dont's :

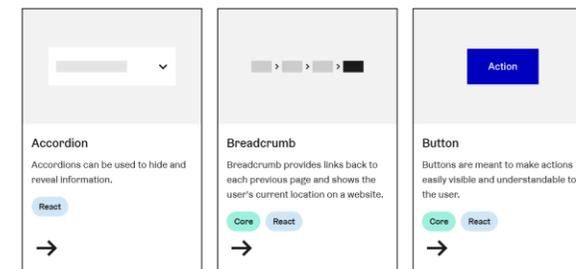
- フォーム入力時に、ユーザーがキーボードとマウスを頻繁に切り替えないようにする

Components overview

This section lists all components currently available in HDS. Components can be viewed also in the Storybook examples.



Tags will tell you which technologies the component is available in.



DateInput

Stable Accessible

Date input allows the user to easily input a specific date or a date range. By default, HDS date input is supplied with a date picker functionality.

Available technologies

React

Usage Code Accessibility Customisation

Usage

Example



参考
出典

- 特徴的な機能、ヘルシンキデザインシステム、<https://hds.hel.fi/>、2024-12-20

ヘルシンキ市 : Helsinki Design System (HDS)

調査内容

その他機能

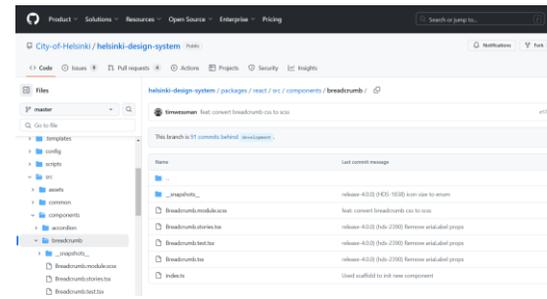
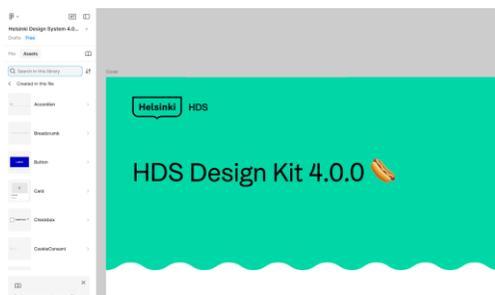
【デザイナー向けサービス内容】

- 独自の「Helsinki Grotesk」フォント・写真・Figmaライブラリなどデザインキットを提供。

【開発者向けサービス内容】

- モジュール式のコンポーネントライブラリ (Core・React) をGitHubで提供。

Helsinki Grotesk
Regular
Modernismi, funktionalismi ja Pohjois-Euroopan
Regular italic
Bysanttilaisvenäläistä arkkitehtuuriperinnettä
Medium
Jugendtyyli sai Suomessa oman tulkintansa,
Medium italic
Modernismia parhaimmillaan ovat



評価

費用対効果

デスクトップリサーチでは、詳細不明

国内評価

フィンランド国内で開催されるデジタルメディアやマーケティング分野における主要なアワードの一つ「Grand One」で金賞を受賞。特に、Helsinki Design Systemの使いやすさ、一貫性、アクセシビリティが高く評価された。

今後の展開

■ よりユーザー指向なサービスに改善するためのツール・ガイドラインを展開

UXライブラリに加えて、顧客調査からコンテンツデザインに至るアジャイル開発のガイドライン、顧客指向でデジタル都市デザインを効率的に実装するためのツールも開発予定。

参考 出典

- その他機能・今後の展開、ヘルシンキデザインシステム、<https://hds.hel.fi/>、2024-12-20
- 評価、Gofore、<https://gofore.com/en/news/city-of-helsinki-won-a-grand-one-design-award-gofore-one-of-the-service-creators/>、2025-01-10

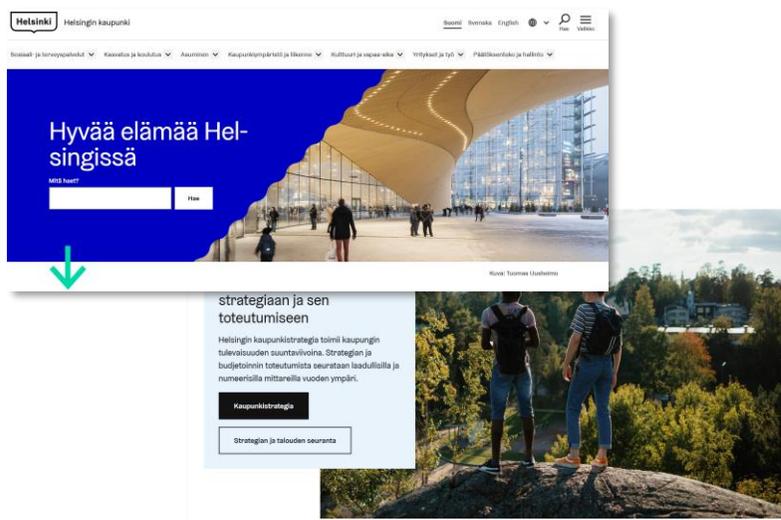
参考：HDSにより構築された主なWebサイト

調査内容

主なサイト

■ Helsinki.fi

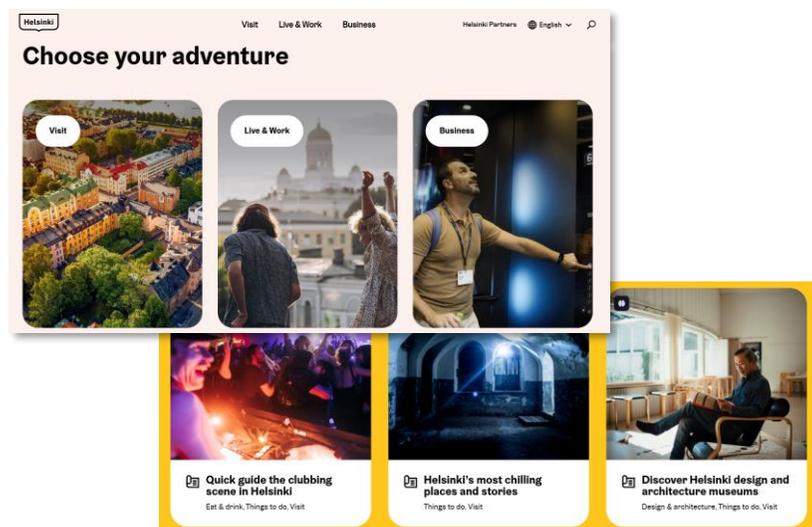
- ヘルシンキ市の公式サイト



Helsinki city, <https://www.hel.fi/fi>, 2025-2-18

■ MyHelsinki

- ヘルシンキ市所轄のマーケティング・投資会社「Helsinki Partners」による観光・移住・企業誘致サイト



MyHelsinki, <https://www.myhelsinki.fi/>, 2025-2-18

その他の構築サイト

ヘルシンキ市によると、「hel.fi」で開始するアドレスを全てHDSに準拠するように改修を進めており、市に関連するWebサイトはデザインが統合される予定である。

参考
出典

- その他の構築サイト, <https://www.hel.fi/fi/maatoksenteko-ja-hallinto/helfin-sisallontuottajan-opas/sivujen-rakentaminen-drupalissa/uudelle-sisallontuottajalle>, 2025-02-18